



月	月・惑星 (天文館で観望可能な時期)	天文館で観望できる主な天体および星空の状況
2023 4月	<p>6日〇満月 13日下弦の月 20日●新月 28日上弦の月</p>	<h2>春の星空</h2> <p>星のつながり 春の大三角：アルクトゥールス・スピカ・デネボラ 春の大曲線：北斗七星・アルクトゥールス・スピカ ししの大鎌：しし座の頭</p> <p>星座 かに座 しし座 おとめ座 てんびん座 うしかい座 おおぐま座 恒星 レグルス スピカ アルクトゥールス 二重星 アルギエバ(しし) ミザール(おおぐま) コル・カロリ(りょうけん) ブルケリマ(うしかい) ポリマ(おとめ)</p> <p>散開星団 M44(プレゼペ) 球状星団 M3 銀河 子持ち銀河</p> <p>春の星座を探すには北斗七星が目印です。柄の部分を手を大きく伸ばし、たどってみましょう。</p>
5月	<p>6日〇満月・半影月食・立夏 12日下弦の月 20日●新月 27日月面Xが見える 28日上弦の月</p>	
6月	<p>4日〇満月 11日下弦の月 18日●新月 21日夏至 26日上弦の月</p>	
7月	<p>3日〇満月 7日七夕 10日下弦の月 18日●新月 26日上弦の日</p>	<h2>夏の星空</h2> <p>星のつながり 夏の大三角：ベガ・アルタイル・デネブ 七夕：おりひめ星(ベガ)ひこ星(アルタイル)</p> <p>星座 白鳥座 こと座 わし座 さそり座 いて座 ヘルクス座 イルカ座</p> <p>恒星 ベガ デネブ アルタイル アンタレス 二重星 アルピレオ(はくちょう) ダブルダプルスター(こと)</p> <p>球状星団 M13(ヘルクス)</p> <p>散開星団 M11(たて)</p> <p>惑星状星雲 M57 リング星雲(こと)</p> <p>夏の星座探しには頭上に輝く3つの星で作る夏の大三角が手掛かりです。七夕の星です。</p>
8月	<p>1日～7日星空に親しむ週間 2日〇満月 8日下弦の月 16日●新月 22日伝統的七夕(旧七夕) 24日上弦の月 31日〇満月(スーパームーン)</p>	
9月	<p>7日下弦の月 15日●新月 23日上弦の月 29日〇満月・中秋の名月(十五夜)</p>	
10月	<p>6日下弦の月 15日●新月 22日上弦の月 27日十三夜 29日〇満月</p>	<h2>秋の星空</h2> <p>星のつながり 秋の四辺形：ベガス座・アンドロメダ座・ケフェウス座 カシオペア座・ペルセウス座・くじら座</p> <p>星座 やぎ座 みずがめ座 うお座 おひつじ座 アンドロメダ座 ベガス座</p> <p>恒星 フォーマルハウト アルゴル ミラ ガーネットスター 二重星 アルマク(アンドロメダ)</p> <p>散開星団 h-x 二重星団(ペルセウス)</p> <p>銀河 M31 アンドロメダ銀河 M33(さんかく)</p> <p>秋の星座を探すには、秋の四辺形と呼ばれる4つの星の並びを探します。淡い光の星をたどります。</p>
11月	<p>5日下弦の月 13日●新月 20日上弦の月 27日〇満月</p>	
12月	<p>5日下弦の月 13日●新月 20日上弦の月 27日〇満月</p>	
2024 1月	<p>4日下弦の月 11日●新月 18日上弦の月 26日〇満月</p>	<h2>冬の星空</h2> <p>星のつながり 冬の大三角：シリウス・ベテルギウス・プロキオン 冬のダイヤモンド：カペラ・アルデバラン・リゲル・シリウス・プロキオン・ポルクス</p> <p>星座 オリオン座 おうし座 ぎょしゃ座 ふたご座 おおいぬ座</p> <p>恒星 冬のダイヤモンド参照 二重星 カストル(ふたご) トラベジウム(オリオン)</p> <p>散光星雲 M42 オリオン大星雲 M78(オリオン)</p> <p>散開星団 M45 プレアデス星団《すばる》(おうし) M35(ふたご)</p> <p>超新星残骸 M1 かに星雲(おうし)</p> <p>まぶしいほど明るい冬の1等星を目印に、冬の星座や天体を探してみましょう。</p>
2月	<p>3日節分・下弦の月 4日立春 10日●新月 17日上弦の月 24日〇満月</p>	
3月	<p>4日下弦の月 10日●新月 17日上弦の月 20日春分 25日〇満月・半影月食</p>	

観望のご案内

開館時間	13:30~21:00 最終入館時刻 20:30	時間帯	観望内容
観望時間	50分程度(各回入替制) 予約優先です	夏の観望 13:30~16:30	☆太陽の観望 口径10cmの専用望遠鏡でプロミネンスや黒点を見ます。 ☆惑星・恒星の観望 口径65cm望遠鏡で観望します。日中でも明るい惑星や恒星を見ることが出来ます。年・季節・時間帯によって見える天体が変わります。 ☆平面型プラネタリウム観賞 「季節の星座」などを上映します。 ※曇天・雨天時は星が見えませんが、短縮したプログラムとなります。
休館日	毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館) 祝日の翌日(日曜日にあたる場合を除く) 年末年始(12月30日~1月3日) (メンテナンスや悪天候により臨時に休館になることがあります)	冬季限定観望 17:10~18:00	12月は夜の観望 3~9月は夏の観望 10, 11, 1, 2月は薄暮の観望※ ととなります
入館料	通常 大人300円 小人(小中学生)100円 団体 10名以上 大人240円 小人80円 割引 自然観察館共通 減免制度 以下の手帳をお持ちの方は本人及び介護者1名が無料となります 身体障害者手帳・養育手帳・精神障害者保護福祉手帳	第1回観望 18:10~19:00	3, 4, 5, 6, 7, 8, 9月は薄暮※ ☆惑星・恒星・星雲・星団の観望 口径65cm望遠鏡・T.O.A150望遠鏡で観望します。月や惑星を中心に、空の状態に応じて、二重星や星雲・星団を観望します。年・季節によって見える天体が変わります。
事前予約	小中学生やその他の団体予約利用のため、入館できない場合があります。事前に電話での予約をお勧めします。 時間外の団体特別観望は電話にてご予約下さい。 TEL 0287-28-3254	第2回観望 19:10~20:00	5, 6, 7, 8月は薄暮※ ☆平面型プラネタリウム観賞 「季節の星座」などを上映します。 ※曇天・雨天時は星が見えませんが、短縮したプログラムとなります。
		第3回観望 20:10~21:00	
			※薄暮の時間帯では月、明るい惑星、明るい恒星の観望が中心となります。

2023年度 イベント一覧 ※開催日時等が変更になる場合もあります。

【スペシャルイベント】

月/日	時間	イベント名
5/23	19:10~20:00	細い月と金星の接近を見よう
6/10・11	13:30~21:00	県民の日無料開放日
7/28・29・30	19:10~21:00	「望遠鏡を作って、月を観察しよう！」夏休み工作教室
8/13	19:00~21:00	ペルセウス座流星群観望会
12/15	19:00~21:00	ふたご座流星群観望会
1/18	19:10~21:00	「月面X」を探せ

【イベント】時間帯の表示：1~3は第1回~3回観望。時刻表示は特別実施時間

月/日	時間帯	イベント名
5/4・28, 6/25, 7/2, 8/27, 9/24, 10/22, 11/26, 12/24, 1/21, 2/18, 3/17	3	📺月撮影会(ホームビデオカメラ・一眼カメラで月を撮影)
4/14~16・21~23	19:40~21:00	春の星座観望会(しし座から春の星座を探す)
4/28~5/3・26・27	2・3	望遠鏡で月のクレーターを見よう
7/21~23, 8/18~20	19:40~21:00	夏の星座観望会(夏の大三角から星座を探す)
8/4~8/11	19:40~21:00	小学生集まれ! 子どものための夏の星座教室
9/8~10・15・17・18	3	夏の天の川を見よう(土星も見られる)
9/16	2~3	📺夏の星座や天の川を撮影しよう
9/29	2・3	中秋の名月を見よう
10/6~8・13・15	18:10~19:30 19:40~21:00	秋の星座観望会(土星も見られる)
10/14	2~3	📺アンドロメダ銀河を撮影しよう
10/24~29	18:10~19:30 19:40~21:00	小学生集まれ! 子どものための月観望会
11/3・5・10・12・17・18・19, 12/1・2・8・10	1・2・3	木星・土星を見よう
11/4	2~3	📺ホームビデオカメラで木星と土星を撮影しよう
11/11	2~3	📺ペルセウス座・カシオペア座を撮影しよう
12/9	2~3	📺オリオン座・ぎょしゃ座を撮影しよう
1/4~8・10~12・14	18:10~19:30 19:40~21:00	小学生集まれ! 子どものための冬の星座教室
1/13	2~3	📺プレアデス星団を撮影しよう
2/2・3・6~9・11	18:10~19:30 19:40~21:00	冬の星座観望会(冬の星座はオリオン座から)
2/10	2~3	📺オリオン大星雲を撮影しよう
3/9	2~3	📺冬の冬の大三角を撮影しよう

【街角観望会】(曇天・雨天の場合は中止となります。)

月/日	時間	場所
4/9, 5/28, 9/3, 10/9, 12/17, 3/17	13:00~16:00	大田原市中央多目的公園 他

太陽の黒点やプロミネンスを見よう

夏の観望のメインは、何と言っても太陽の表面が見られることです。太陽を直接見ると目を痛めてしまうので普段は見ることはできません。特別なフィルタをつけた望遠鏡で太陽の表面を観察します。黒いほくろのような黒点や、地球を飲みこんでしまうほどの大きさのプロミネンス(紅炎)などが見られます。



月を楽しもう

~クレーターを見る~

大型の望遠鏡で見る月のクレーターは迫力があり、見ごたえがあります。特に半月前後が様々なタイプのクレーターを観察するチャンスです。スマートフォンでも撮影することができますので挑戦してみてください。係員に声をかけてみてください。



小学生向けのイベントが多数

小学校の理科の授業で、天体についての学習をします。天文館では実際の星空に目を向け、学習をさらに深めてほしいと願い、「子どものための」イベントをいくつか用意しました。8月の「夏の星座教室」、10月の「月観望会」、1月の「冬の星座教室」です。その他にも、望遠鏡を組み立てて月を観察する「夏休み工作教室」も実施します。ぜひ親子でご参加ください。

8/13(日) ペルセウス座流星群

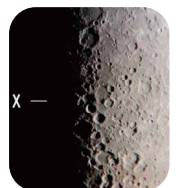
今年のペルセウス座流星群は、13日の17時頃に極大を迎えます。さらに、16日に新月を迎えるので、この日は月明かりの心配なく流星群を楽しむことができます。この流星群は明るく痕を残す流星が見られるチャンスでもありますので、期待して夜空を見てみましょう。

12/15(金) ふたご座流星群

今年のふたご座流星群は15日の4時頃に極大を迎えます。この日は18時30分には月が沈んでしまうので、月明かりを心配せずに観望を楽しむことができます。観望会では、1時間に20~30個の白く輝く流星を観望することができるでしょう。

1/18(木) 月面Xを探せ

月の表面に当たる太陽光の角度によってアルファベットの「X」が浮かび上がって見えます。見られる時間が限られていて、良い条件で見られるのは1月18日の19時ごろから2~3時間の間と予想されます。



大田原市ふれあいの丘天文館

〒324-0024 大田原市福原1411-22

TEL: 0287-28-3254

<http://www.fureai-tenmonkan.jp/>